

【担当教員名】 相場恵美子	対象学年	1	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

様々な要因が内在する社会環境の中でのこどもの発達を考えていく上で、実証的研究の積み上げは不可欠なものです。発達心理学Ⅰでは科学的心理学の技法を学び、代表的発達理論の検証を行いながら、主として乳幼児期の認知機能と情緒機能を中心に学

【学習目標】

- ・発達研究における科学的心理学の重要性について理解する。
- ・科学的論文に対し検証的に読み解く態度を身につける。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	発達心理学の視座 発達心理学における実証		講義
2	発達研究の技法 発達心理学における研究技法の紹介		同上
3	実験的発達研究 代表的な実験心理学的発達研究の講読		講義とグループワーク
4	発達理論の検証Ⅰ パーソナリティについての代表的発達理論の紹介とその検証		講義
5	発達理論の検証Ⅱ 認知能力の発達についての代表的理論の紹介とその検証		同上
6	発達理論の検証Ⅲ 社会性の発達についての代表的理論の紹介とその検証		同上
7	言語能力の発達 言語能力の発達過程		同上

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	特に指定せず、プリントを配布します。			
参考書	幼児心理学への招待—子どもの世界づくり	内田伸子	サイエンス社	1989年2200円
	生涯発達の心理学	高橋・波多野	岩波新書	1990年660円
その他の資料				

【評価方法】

平常の学習状況  
レポート

【履修上の留意点】

・発達心理学Ⅱの基礎であり、またSTとして必要な心理学系科目全ての基礎として役に立つよう 講義を進める予定です。積極的な講義への参加と主体的な取り組みを望みます。